（山村活性化支援交付金）里芋を活用した特産品の開発

【高知県津野町（つのちょう）】

取組のポイント

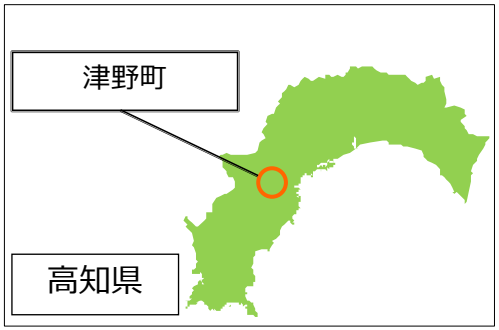
◆昔から地域で「タイモ」と呼ばれ親しまれてきた「里芋」の規格外品を主体に加工商品開発を検討

◆地域の合意形成のためのワークショップの開催、商品の安定生産のための里芋の生産量の増産に取組

◆地域全体で新商品開発。デザイン性を重視した統一ロゴマーク等の採用。ふるさと納税返礼品に採用

地区の概要

◆ 位置
高知県高岡郡津野町



◆ 活用した地域資源
里芋

◆ 事業実施主体
ツノール商品開発推進協議会

◆ 主な取組団体等
(有)津野町ふるさとセンター
（地域の直売所）
(株)満天の星
（地域の加工業者）

◆ 事業実施期間
H30～R２

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

◆商品開発の合意形成のため、生産・加工施設等の関係者によるワークショップを繰り返し開催（計23回）

◆デザイン性を重視したロゴマークや商品パッケージの作成

【ワークショップ】

TSUNORU

【ロゴマーク】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

◆PRポスターを作成し広報活動に活用

◆ふるさと納税の返礼品として採用

【PRポスター】

【展示会への出展】

取組の成果

◆新商品の開発　4品（里芋のスープ、アヒージョ、グリーンカレー、ペースト ）

◆新商品の販売額　776千円（R2実績）